

看護実践能力修得度調査からみた教育評価 第4報

新潟医療福祉大学看護学科・中山和美
袖山悦子, 坪川麻樹子, 宇田優子

【背景】

A大学では毎年、卒業時に学習成果について自己評価を行うことで、4年間でのどのような看護実践能力が身についたか調査を行っている。同じ質問表を使用した2年間のデータから考察を試みたので報告する。なお、本研究は新潟医療福祉大学倫理委員会の承認を得て実施した。

【方法】

A大学看護学科4年生を対象に卒業前の平成26年2月に自記式質問票を配付しその場で記入してもらい提出させた。その際に得られたデータを研究として取り扱うことの可否を同意書により確認した。

調査票には看護実践能力の構造(5能力群, 20能力, 55到達目標ならびに学習成果202項目)を示したうえで、学習成果について「できない」から「よくできる」の4段階で自己評価をさせた。学習成果評価点を該当する20能力に集約して平均値を求め、24年3月の報告¹⁾(全国の看護系大学生765名(うち回収率50%)の調査結果)と比較した。またA大学において前年度に実施した学生の自己評価とも比較した。

【結果】

研究の趣旨を説明し同意の得られた81名(97.6%)の結果を本研究において分析した。

修得すべき20の看護実践能力について全国平均より0.2ポイント高い項目は「終末期にある患者の援助」であり、0.2ポイント低い項目は「生涯にわたる能力向上」と「専門職として発展させる能力」であった。さらに学習成果に関する自己評価を昨年と比較し、前年度と0.2ポイント差のあった15項目を表1に示した。

【考察】

20の看護実践能力においては、全国・A大学共に「ヒューマンケアの基本に関する実践能力」が高い結果であり、修得しやすい能力と思われる。しかし「根拠に基づき看護を実践する能力」は2点台が多く、修得に苦慮している様子がうかがえる。

学習成果はレベルが具体的なので学生が自己評価しやすい項目となっている。平均点は3.0で前年度と全く同じ値であったが、詳細をみると個々には変動を認めた。0.2ポイント上昇している項目は「プロセカド[®]を活用したコミュニケーション能力」「ケア計画と実施」「実践の評価」「健康問題解決に必要な看護援助の理解」「査定方法の説明」「自己学習・教育力の重要性」であった。同時に実施した看護技術到達度調査において技術に

＜表1. 20 実践能力における年度別平均点の比較＞

学 習 成 果 (202 項目)	25 年	26 年
1. 実施する看護を説明する方法とその意義について説明できる	3.3	3.1
2. プロセカド [®] を活用して援助的コミュニケーションをとることができる	3.0	3.2
3. 対象に必要なケアを計画し、指導のもとで実施できる	3.1	3.3
4. 実施した看護実践を評価することができる	3.1	3.3
5. 看護に必要な人体の構造と機能について説明できる	2.9	2.7
6. 活用できる社会資源を調整する基本技術を理解し、指導のもとで実施できる	2.8	3.0
7. 健康のニーズを把握し、健康問題解決に必要な看護援助方法について説明できる	2.9	3.1
8. 日常生活、セルフケア能力査定の方法が説明できる	2.9	3.1
9. 生きること、死にゆくことの意味とその過程について説明できる	3.2	3.0
10. 最期までその人らしさを支援する必要性が説明できる	3.5	3.3
11. 在宅での看取りのための体制づくりについて説明できる	3.1	2.9
12. 看護活動をPDCAサイクルを用いて改善する意義と方法について理解できる	2.7	2.9
13. 地域における健康危機管理の重要性和看護の活動・役割について理解できる	3.0	2.8
14. 災害看護の活動の在り方を理解できる	3.0	2.8
15. 自己学習や自己教育力が専門職に重要な要件であることを説明できる	3.0	3.2
*202 項目の平均点	3.0	3.0

対する自信がついていることと照らし合わせると、統合実習開始がその要因となっている可能性が考えられる。一方で「人体の構造や機能」「在宅での看取りの体制づくり」「地域の危機管理」「災害看護のあり方」など2点台に下降した項目もある。平均点増減の要因は不明ながら、今後の教育に活用できるよう検討を重ねていきたい。

【結論】

昨年と変わらず現行の教育内容によって全国看護系大学生と同等の看護実践能力を修得していたが、「専門職者として研鑽し続ける能力」は十分でないことが明らかになった。しかし前年度に比して「看護を計画・実施し、評価する」という学習成果が上がっていることが確認できた。

【文献】

- 1) 日本看護系大学協議会：大学卒業時到達度の評価手法開発のための調査研究報告書，2012. 3